

平成14年12月 検定試験

〔No.40〕 騒音・振動に関する故障診断の対処方法として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 高速走行時などに、ステアリング・ホイールや座席が“ブルブル”と上下振動したので、シェイクと診断し、ほぼタイヤが振動源であると考えられるためステアリング・ホイールの振動を測定した。
- (2) 停車時にエンジン・レーシングしたとき、特定のエンジン回転速度で“ボー”、“ウォーン”と耳に圧迫感のある連続音がしたので、こもり音と診断し、エンジンや補機類に共振、アンバランス又は共鳴を生じる場所がないか点検した。
- (3) 高速道路を走行中、特定の車速になると“ウォーン ウォーン”という波打つ音が発生したので、ビート音と診断し、エンジンやプロペラ・シャフトなどで共振やトルク変動を生じる箇所を点検した。
- (4) 高速走行時などに比較的限られた車速で発生し、ステアリング・ホイールが回転方向に振動したので、フラッタと診断し、プロペラ・シャフトを点検した。